

平成 26 年 8 月

チーム責任者 各位

(公財)日本ハンドボール協会

競技本部長 江成 元伸

(公 印 省 略)

ユニホームの背番号・胸番号及びメーカーロゴマークに関する件(改善勧告)

平素は本協会競技運営に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年 7 月に開催されました第 4 回全日本社会人選手権大会において、複数チームのユニホームに表示されている背番号、胸番号が見にくいという指摘がありました。近くで見ると読み取れますが、記録席から見て、ゴールエリア付近にいる選手についてはほとんど判別できない状態でしたので、選手が記録席に近づくまで判からないという声が常に聞こえている状態でした。また、観客席からはほとんど見えないと言っていいほどの状態で、複数の関係者から改善要望の声が上がっていました。

また、8 月に開催された第 19 回ジャパンオープントーナメントにおいて、背番号の大きさが、規定されている高さ 20cm 以上に満たないチームが多数ありました。なお、ユニホーム製造メーカーのロゴマークについては「テクニカルデレゲートの任務」に記載していますので、熟読の上対応するようお願いいたします。

いずれの場合も、大会直前のユニホーム確認で当該の試合に使用するのは不適切と判断があっても、持参ユニホームの状態から使用を禁止する処置がとりにくいのが実情であります。

この通知では、今後新しいユニホームを作成する場合に限らず、不適切なユニホームと指摘を受けるようなチームにあっては、早急に何らかの対策を講じていただくよう勧告いたします。本通知を発行してから次回の大会まで時間経過があると判断されれば、使用を禁止する処置を執らざるを得ない場合もあることを付記しておきます。

指摘を受けるような状態でないチームにあっては、今後、ユニホームを新調する場合は十分にご配慮いただくようお願いいたします。

ハンドボール界発展のためにも、競技者だけが競技をしているのではなく、観客を含め多くの関係者によって運営されていることをご留意の上しかるべく対応をお願いいたします。

以上